

2学年だより

教育目標 ○礼儀正しい生徒 ○進んで学ぶ生徒 ○心身ともに健康な生徒

2021. 12. 3

三者面談お世話になりました

今週は三者面談を実施させていただきました。保護者の皆様にはお忙しいところ、ご都合をつけていただき、ご来校いただきましてありがとうございました。お子様の学校生活の様子、授業中の取り組みなどご理解いただけでしょうか。学級担任としては、お子様の集団生活では見られないご家庭での様子や教育に関する保護者のお考えをお聞かせいただくことで、生徒へのより深い理解と適切な指導のありかたについての一助となります。限られた時間での懇談なので十分にお話しいただけなかったこともあるかと思えます。お子様についての相談は、三者懇談期間に限らずいつでもご連絡いただいても結構ですので、今後もよろしくお願いいたします。

なお、先日、好間中学校だより「きくたけ」でもお知らせしましたとおり、お子様の2学期の学校生活や学習についての様子は、今回の三者面談でご理解いただけたかと思えますので、第2学期通知票における所見は記載しませんのでご了承ください。

親子ふれあい弁当デー どこまで自分で作れたかな？

11月26日(金)は「親子ふれあい弁当デー」でした。この取り組みは、お弁当について、献立を家の人と一緒に考えたり、一緒に作ったりして、お弁当作りの大変さや楽しさを味わうものです。朝、生徒の何人かに「お弁当を家の人と一緒に作って見たの？」と聞いてみると、「焼くのを手伝いました。」「一緒にお弁当箱に詰めました。」などと話してくれました。中には「全部1人で作りました。」という生徒も。そして「見ているだけでした。」という生徒もいました。新型コロナウイルス感染症対策で、食事中は、友だちとお弁当を見せ合ったり、お弁当について楽しく語り合ったりすることができないのが少し残念でしたが、生徒の皆さんは、おいしそうにお弁当を味わっていました。生徒の皆さんには、感想を書いてもらいましたが、素敵な内容がたくさんありましたのでいくつか紹介させていただきます。



2年1組

「母が毎日家族のお弁当を作っているのが、大変さが分かった。」(女子)
 「お弁当作りの大変さを感じた。帰ったらしっかり感謝の気持ちを伝えたい。」(男子)
 「昨日の夜、ご飯のおかずや冷蔵庫のメニューを考えたり、量を作りすぎないように気をつけた。」(女子)
 「いつも朝早く起きてお弁当を作っているお母さんはすごいと思いました。これからは、朝は無理なので、夜お米をといだりして手伝いたいです。」(女子)
 「母のありがたみを感じた。楽しかった。」(男子)
 「お弁当作りは時間がかかるので、久しぶりに早起きできて良かったです。」(男子)

2年2組

「メニューを毎回考えているお母さんは大変だと思いました。」(男子)
 「とても大変でした。いつもお弁当の日におかずを作ってくれるお母さんに改めて感謝したいです。」(女子)
 「少ししか手伝っていないのですが、お弁当作りの大変さを実感しました。」(男子)
 「自分でやってみると意外と大変でした。いつもお弁当を作ってくれているお母さんに感謝したいです。」(男子)
 「いつもお母さんに任せてばかりなので、今度からは、少しでもいいから手伝いをしようと思った。」(女子)
 「楽しかったけれど時間がかかってびっくりしました。今度母にも作りたいです。」(女子)



裏面に続きます

2年3組

「母がいつも苦労しているのがよく分かった。」(男子)
 「お弁当を全部1人で作るの大変だと思った。」(男子)
 「母のお弁当作りの大変さを感じました。お弁当を作るときは母と一緒に作りたいです。」(女子)
 「いつも朝弁当を作ってくれる母のありがたさを実感しました。」(女子)
 「親は大変なことをやってくれていると分かった。」(男子)
 「メニューを考えて、朝早くお弁当を作るのは大変だと思った。いつも作ってくれるお母さんに感謝。」(女子)
 「親子ふれあい弁当デー」を通して、家の人への感謝の心、自分から進んで何かしようという心が育ってくれたと思います。



いわき市新人戦 柔道部の活躍

11月13日(土)14日(日)好間中学校体育館で柔道の新人戦がありました。本校2学年からは、男子個人60kg級に2組の高木 駿青くん、同じく66kg級に2組の佐藤 雅倫くんが出場し、駿青くんが優勝、雅倫くんは3位に入賞しました。おめでとうございます。駿青くん、雅倫くんは福島県大会へ出場します。駿青くんのお話。「決勝の相手は強かったです。相手の大外刈りを返して勝ちました。嬉しかったです。県大会では優勝をめざしたいです。」雅倫くんのお話。「内股が決まって勝ちました。準決勝ではもっと粘りたかったです。県大会ではたくさん技を仕掛けたいと思います。」県大会でも、是非持てる力を発揮して活躍してくれることを願っています。



救急法講習会を行いました ～すぐそばにある命を救うために～

12月1日(水)第2学年で救急法講習会を行いました。講習会には、講師の先生として、内郷消防署より2名の署員の方に来ていただきました。実施場所は武道館で、2校時が2組、3校時が1組、4校時が3組と、クラス単位で行いました。講習会では、主に胸骨圧迫とAEDの操作について学びました。実際に2人1組になって次のような実習を行いました。



人が倒れている場面に遭遇したとき・・・

- ①意識を確認する。「もしもし、大丈夫ですか？」
- ②意識がない場合、近くの人に大声で応援を要請する。
「あなた、救急車を呼んでください。」「AEDを捜してきてください。」
(AEDは、公共施設やお店にあります。もちろん好間中学校にも備えてあります。)
- ③呼吸を確認する。(10秒間、胸とおなかの動きを観察する。)
- ④呼吸がないとき、心臓マッサージを始める。(30回1セット)
- ⑤AEDを持ってきた人が、AED音声の指示でパッド2枚を体に貼る。
- ⑥AED音声の指示で、心臓マッサージをやめ、要救助者から離れる。
- ⑦AED音声の指示で、電気ショックボタンを押す。
- ⑧心臓マッサージを再開する。

署員の方から次のようなお話がありました。「心臓マッサージは強く速く押しましょう。心臓は、酸素を含んだ血液を全身に送るポンプです。血液が送られないと脳や内臓が大きなダメージを受けます。」

生徒の皆さんは、真剣な態度で救急法を学んでいました。

救急措置法を身につけていれば、心肺停止の状態の人を救う可能性が高くなります。自分の家族や、友人、または、緊急の場面に遭遇したときなど、すぐそばにある命を助けられるかどうかは自分にかかっています。講習会で学んだことを是非生かしてほしいと思います。

基礎学力コンテスト<理科>を実施

11月29日(月)基礎学力コンテストの理科を行いました。今回のテストは、基本的な語句25題の出題です。「子房の中にある小さな粒を何というか。」(答 胚珠)「めしべの先端部分に花粉がつくことを何というか。」(答 受粉)などです。テストに向けて、先週模擬テストを何度も行ってきました。全員に合格してほしいところですが結果はどうだったでしょうか。

<来週の予定> 12月

6(月)	基礎学力コンテスト準備期間<社会>~10日(金) ◇部活動生徒完全下校 18:30
7(火)	◇部活動生徒完全下校 18:30
8(水)	④カット スクールカウンセラー 来 ◇部活動なし 14:30 完全下校

9(木)	◇部活動生徒完全下校 18:30
10(金)	避難訓練⑥ ◇部活動生徒完全下校 18:30

